

2025 年 5 月 27 日

総合科学誌 *Nature* オンライン版に当社製品 prevelex®および FCeM®の記事が掲載されました

2025 年 5 月 15 日付で、最先端の科学を伝える国際的な総合科学誌 *Nature* のオンライン版「Nature.com」の特集企画 Technology Feature Organoids に、記事広告「A range of tools to beat broken hearts」が掲載されました。記事内では、日産化学が開発した生体物質付着防止材料「prevelex®」を使用した iPS 細胞由来の心筋球の製造法や「FCeM®」による常温でのスフェロイド保存について掲載されています。

本記事は iPS 細胞由来の心筋球による心不全治療について、本技術の開発者の一人である藤田医科大学の遠山教授らへの取材をもとに作成されました。記事内では技術のみならず、遠山教授が心臓に興味を持った背景も書かれています。



Cardiac spheroids produced on a clinical-grade polymer (prevelex) coated microwell plate. Credit: Nissan Chemical and Fujita Health University

サルを用いた非臨床試験において、心筋球は移植後効率的に生着した後に心筋層内で成熟し、心臓の収縮機能が回復することが判りました。この結果に基づき、現在は本技術の社会実装を行っている Heartseed 社で臨床試験が開始され、既に 10 名の心不全患者様への移植が行われています。

下記 URL より記事広告全文がお読みいただけます。

URL : <https://www.nature.com/articles/d42473-025-00090-1>

日産化学では今後も本技術の社会実装に向け研究開発を進めます。

本件に関する問い合わせ先

日産化学株式会社 経営企画部 企画室 広報グループ
(東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング)

TEL : 03-4463-8123

E-mail : pr_cpd@nissanchem.co.jp